

長岡京市市民活動応援補助金 採択事業紹介シート(市民協働スタートアップコース)

親子のひろば「ひなたぼっこ」／「子育て支援・親支援」

団体紹介

子育て中の親子が気軽に立ち寄り、子育ての悩みや不安を安心して話すことができる心の居場所をつくることを目指して2019年6月に開設した親子のひろば「ひなたぼっこ」です。長岡京市久貝にある古民家「みんなのお家」を借りて、毎週月曜日(+不定期)で、月6~8回活動を行っています。拠点である「みんなのお家」は多世代の方が訪れていて、畑では収穫体験をさせていただいたり、お庭では季節のお花やイベントごとの装飾を楽しませていただいたりしています。

採択事業紹介と開催結果・今後の予定など

「地域の方にも見守っていただきながら、安心して子育てができる環境を作っていくこと」「他の団体との連携や交流」を目標としていますが、今年度は新型コロナウイルスの感染防止のために「みんなのお家」への自由来館が停止したり、「ひなたぼっこ」の定員・予約制にせざるを得なかったり、気軽に誰でも自由に訪れることができなくなり、交流の場を設けることが難しかったです。

年間を通して新型コロナウイルスの対策をしながらの活動でした。

1度目の緊急事態宣言の時は、個別の育児相談や、公園での「ひなたぼっこ」開催に切り替えて対応したり、手遊びやふれあい遊びな

どを収録した動画を希望される方に送り、お家で過ごす時間に役立てていただいたり、孤独感や閉塞感が募らないように気になる親子には連絡を取るよう心がけました。

解除されてからは with コロナでの活動再開となり、事前予約、午前と午後の2時間ずつの二部制で定員を設け、検温、消毒などの対策を取りながら開催しました。

2度目の緊急事態宣言の時は、ひなたぼっこ来館者を中心に同意をいただいた方の LINE のグループを作り、手遊び、ふれあい遊び、体操、パネルシアターなどの動画を送り、親子で家の中でも楽しんでいたことが好評でした。家で鬼のお面を作れるように製作用のグッズを用意して希望者に配布したり、オンラインによるひなたぼっこも開催しました。

今まで思い描いてきたひろばのカタチと違い、経験したことがなかった「ひなたぼっこ」の運営となり、葛藤も多くありましたが、子育て中の方に「ひとりじゃない、繋がっている」という安心感を届けることに想いを寄せ続けた一年間でした。

